

分野別意見交換会・報告書

開催日時	平成21年11月20日（金） 19時00分 ～20時48分	
開催時間記録	1 開会 (19:00) 2 障害者の明日を考える会会長あいさつ (19:01-19:02) 2分間 3 会津若松市議会議長あいさつ (19:03-19:06) 3分間 4 参加者紹介 (19:06-19:10) 4分間 5 障害者の明日を考える会の紹介 (19:10-19:15) 5分間 6 懇談会の進め方について 座長あいさつ (19:15-19:18) 3分間 7 懇談 (19:18-20:45) 87分間 8 総括 (20:45-20:48) 3分間 9 閉会 (20:48)	
開催団体	障害者の明日を考える会	
開催場所	東京電力（コミュニティホール）	
出席議員	出席者	樋川 誠、清川雅史、横山 淳、伊東くに、松崎 新、斎藤基雄、近藤信行、小湊好廣、目黒章三郎、石田典男、佐藤義之、荒井義隆、本田礼子
	欠席者	大竹俊哉、佐野和枝、渡部優生、渡部認、土屋 隆、石村善一、渡部誠一郎、戸川稔朗、坂内和彦、小林作一、相田照仁、木村政司、田澤豊彦、浅田誠、成田芳雄、長谷川光雄、
参加者数	35名（障害者の明日を考える会 20名、議員13名、議会事務局2名）	
主な意見・提言・要望事項	<p>○バリアフリー、ユニバーサルデザインを求めていく上で、これまでも市側と話し合いを進めて来た。今日は市議会と身近な問題について懇談的に進めたい。</p> <p>○一箕町のふれあい体育館に多目的トイレの設置を要望したい。また、スロープの要望もしているが、市は恒久的なスロープでないと設置が難しいとの回答である。</p> <p>○あいづ総合体育館には、外付けエレベータの設置を考えて頂きたい。</p> <p>・本市ではさまざまな障がい者スポーツの大きな大会が開催されている。1階サブアリーナを使用するとき、現在の昇降機が一台で車椅子も一台しか乗れないため大変不便である。トイレと昇降機の混雑で、閉会式に参加できない事もあり大会運営に支障をきたした。</p> <p>○現在の会津陸上競技場は、障害者団体の利用が出来ない状況である。新陸上競技場の計画はどの様になっているのか。</p> <p>（議員）全天候型で平成24年度に完成予定。陸上競技、ゲートボール、サッカー等に使用可能。多目的トイレ、エレベータも完備。室内練習場はないが外に練習場を設ける。</p> <p>○神奈川県横浜市のラポール施設は、一回に15台の車椅子が乗れるエレベータ等がある施設。是非調査して頂きたい。</p> <p>○スポーツとして盲人卓球を行っているが、卓球台を出したままに出来る場所の確保をお願いしたい。例えば、鶴ヶ城体育館の入口の右側の部屋など。</p> <p>・現在、ふれあい体育館に盲人用卓球台が一台あるが、他の団体の使用率が高くなかなか予約できない状況である。また、回りが騒がしいとプレーできないのが盲人卓球である。</p> <p>○多目的トイレについて、国基準に照らし合わせると広い設計になっている、実際に使用する方から言えば、半分くらいの広さでよい。その分を使用して複数設置して頂きたい。</p> <p>○市内のゴミ回収について、福島市で行っている「ふれあいごみ回収」事業を本市でも行っていただきたい。目的は二つあり、一点目はごみの回収、二点目は高齢者、障がい者への声か</p>	

けによる安否確認である。

- ・現状、視覚障害はもちろんのこと、車椅子の方は雪の日などのごみ出しは非常に難しい作業である。市側に依頼をしても、ヘルパーさんなどに協力を要請して下さいと、あくまでヘルパー事業者などでの解決を促されるだけである。民生員の方々は、高齢者への訪問などがメインなので、なかなか依頼しにくいのが実情である。

(議員) 本会議の一般質問で本件を訴えた経緯もある。また、町内の声かけ運動などのネットワークづくりが出来ないか、その仕組みづくりを市側に求めていく。

○障がい者を把握する地域マップの作成を要望したい。

- ・地震時などの災害時は、障がい者は避難所へは行きたくない。それは「じゃまになる」からである。もちろん、避難所には多目的トイレもない、視覚障がい者であれば、だれかに介添えして頂かなくてはいけない。体育館であれば非常に密接して避難している為、寝ている人の頭などを踏む可能性もある。従って、じゃま扱いされるのであれば、家に残って家で死んだ方がましだと、思っているのが障がい者なのである。

(議員) 市側もデータとしては持っているが、マップとして起こしてよいか判断が求められる。個人情報の問題と本人への承諾が必要である。

○ガイドヘルパーの利用について自立支援法の制度の歪が出ていますので、法改正を求めて頂きたい。また、判定に際しても障がい者も判定員として従事できないか。

- ・通院時のガイドヘルパーの一部利用に問題がある。例えば通院時のガイドヘルパーを頼み、待ち時間と診察時間で合計5時間かかった時があった。1. 5時間は支援費1,600円出るが、それ以外の時間は個人負担となってしまった。こうしたことをなんとか改善していただけないか。

- ・會津風雅堂などに行く場合は、その玄関口まではガイドヘルパーが付くが、中からの案内はできないのが実情である。玄関口まで行ったとしても、中の椅子席まで案内して頂かなければ意味がない。市側に言っても、主催者側にお願いして欲しいと言われるだけである。また、スイミングスクールに通うにも、玄関口までの案内で、ロッカールームがどこにあるのか、プールまでどのように行き、入るのかわからない。大変不便である。スポーツを通して心身共に健康づくりをしたいのに、支援政策が機能を果たしていない。

(議員) 社会参画できる法整備を求めていきます。また政権が変わったので、介護保険法、自立支援法の改訂に期待をしていきます。

○旧学鳳高校の体育館を障がい者へも開放をして頂きたい。現在、何故使用できないのか。

(議員) 特定利用と不特定利用に建築基準法上の違いがある。学校施設で在学生在が使用する上では体育館の使用可能になるが、不特定の方の利用になると使用が困難になる。現在、用途変更を進めている。

○勤労青少年ホーム（文化センター隣）の3階で卓球を行っているが、使用料が高い。（1回4時間で3,150円）減免制度はないか。

(議員) 文化センター等の減免規定の条例を確認して後日連絡する。

○障がい者の方と健常者が一緒に楽しむ会を今後も呼びかけて行きたい。

- ・障がいを持った人が主催して市民参加を呼びかけている。過日は、脳性マヒの方を尾瀬に連れていった。また、背灸山、鶴ヶ城などへも多数の方々と登った。満月の日にカンタンを聴く会も催し、一般の方と共に行動することを大切にしている。

○會津風雅堂の障害者の車椅子席の増加をして頂きたい。

- ・現在6席しかない状況であり、席も会場の両端になっている。S席の料金を支払っているのに、同じ料金を払うのであれば中央で観たいのが心情。會津風雅堂に増席の要望しても主催者側が受け入れてくれないと言う。主催者側に要望しても會津風雅堂側が受け入れないと言う。どちらが本当か判らない。

(議員) 會津風雅堂は、要請があれば通常の椅子をはずして車椅子が入れる用にしている。

○仮称會津総合学習センター（稽古堂）への基本設計の段階で障がい者グループも一緒に設計に携わりたかった。今後活かして頂きたい。

- | |
|--|
| <p>○法律・制度の不備、お金がない財政の問題がある。民主党の政権の様に事業仕分けを行い工夫した市政運営をお願いしたい。</p> <p>○元気なお年寄りつくりを活かしている、群馬県の太田市尾島町の街づくりを調査して頂きたい。社会福祉協議会との福祉連携がうまくいっている事例である。1%の街づくりを推進、1%ボランティア活動、1%しあわせ活動、1%市民の汗をながす。</p> <p>○神明通りにお年よりが寄れるサロンのような場所を設けて欲しい。</p> <p>○今後もこの様な会合を持って頂きたいので宜しくお願いします。
(議員) 議会も議長のもとで分野別意見交換会を開催して参ります。</p> |
|--|

会津若松市議会議長 様

平成21年11月24日

市民との意見交換会開催要領3(11)により提出します。

広報広聴委員会

委員長 松 崎 新